

区役員・委員へのサポートを



黒木 一 議員



意見集約して次の展開に繋げる



区長会の様子

問 区役員は、業務多忙の中で苦勞している。今以上、なり手不足が加速する恐れがある。行政の対応のサポートを問う。

答 就業年齢70才。なり手不足を、どう考えているのか。何か方策は。

問 総務部長▼区長の業務が多いことから今後、デジタル化などで負担軽減に繋がる手法を考えていきたい。

答 区任せにするのか。また、何か考えて

問 いるのか。親身にご相談に乗り可能な限りサポートしていきたい。

答 区内での世代交代への、行政の支援は。

問 区長会終了後に自由意見の交換を行い、知りえる限りでアドバイスをしていく。

答 区長代理の報酬の変更は、考えていないのか。

問 現時点では見直す考えはないが、今後、情勢など勘案して

検討したい。

問 この2年間コロナ禍で、業務継承は大丈夫なのか。

答 各区の業務の継承悩みなど積極的に相談に乗っていく。

問 区長の委託業務が多すぎるのでは。

答 現状は認識している。

問 他の委託委員の、取り扱いなど統一出来ないか。(期間、年齢、報酬等)

答 法律に基づく場合は無理だが、他の委員は検討していきたい。

問 区役員・委員へのサポートを。

答 町長▼区長会の中で、委員の業務の役割など意見をしっかりと集約して、次の展開に繋げていきたい。

小・中学生を守る施策を

交通安全の啓発・普及に努める

町の発展に伴い、主要道路も整備された。今後、交通安全マナーを整備し、小・中学生を守る施策を提案したい。

問 町内通学路に、危険と思われる横断歩道は何力所あるか。

答 町全体の交通安全意識を向上させ、交通事故のない社会の実現を目指すため、スローガンをPRしていく。

問 町全体の交通安全意識を向上させ、交通事故のない社会の実現を目指すため、スローガンをPRしていく。

答 警察や道路管理者など合同点検を実施し、危険箇所の改善など助言を頂き改善要望を出していく。

問 対策は、どのようなか。

答 四季の交通安全町民運動や広報紙、タウンメール配信など年間を通じてより一層の交通安全の啓発、普及に努めていく。

問 歩行者と運転者がお互いが感謝を込めて「ありがとう」とお礼を交わす運動提案したい。

答 総務部長▼本年度から「止まってくれてありがとう」をスローガンに取り組み始めている。

問 運動を年間行事として、町民全員で展開してはどうか。

答 町全体の交通安全意識を向上させ、交通事故のない社会の実現を目指すため、スローガンをPRしていく。

問 小・中学生を守る施策を。

答 四季の交通安全町民運動や広報紙、タウンメール配信など年間を通じてより一層の交通安全の啓発、普及に努めていく。



丸山 千代子 議員

いつでも無料でPCR検査を

行政検査の対象では無料になる



新型コロナウイルス
デルタ株の感染爆発か
ら、町民の命と暮らし
を守る対策を問う。

問 希望者がいつでも
PCR検査を無料
で受けられる体制を。

答 健康福祉部長▼ウ
イルス潜伏期間の
タイミングがあり、い
つでもは難しい。
行政検査の対象にな
るものは無料になる。

問 学校や保育園など
にPCR検査キッ
トの無料配布を。

答 配布を早急に進め
るよう国へ要請し
ている。

問 ワクチン接種の副
反応による受診を
無料に。

答 国の健康被害救済
制度に基づき、認
定されれば医療費の支
給が受けられる。

問 宿泊療養施設を周
辺市や民間と協力
して確保を。

答 宿泊療養施設は県
が行っている。町
としては、職員の派遣
などの協力をしている。

問 町民・中小業者な
どの支援を。

答 環境経済部長▼飲
食店応援食事券な
ど7件の支援策をして
きた。今後も必要な対
策を検討する。

問 税務担当参事▼令和
3年限りだが、負担軽
減措置が創設されてい
る。

問 町内で学ぶ学生に、
町独自の応援給付
金などの支援を。

答 健康福祉部長▼経
済的支援対策の一
覧をウェブサイトに掲
載している。

問 新型コロナウイルス
と感染症の総合的

な窓口設置を。
答 健康福祉部健康課
で継続して行く。

**加齢性難聴に補
聴器購入補助を**

近隣市町の動向
をみて検討する

高齢化社会のなか、
できるだけ多くの加齢
性難聴者に、早期に補
聴器が利用できるよう
補聴器購入費補助制度
の創設を問う。

問 加齢性難聴者の実
態把握は。

答 健康福祉部長▼70
歳以上の方で62人
いる。

問 聴覚検査を検診メ
ニューに入れるこ
とはどうか。アンケー
トなどによる難聴者の
把握を。

答 検診メニューに入
れることは可能。

全国調査では70代で男
性5人に1人、女性10
人に1人といわれる。

問 加齢性難聴は、国
際アルツハイマー
会議で認知症の最大の
危険因子とされている。

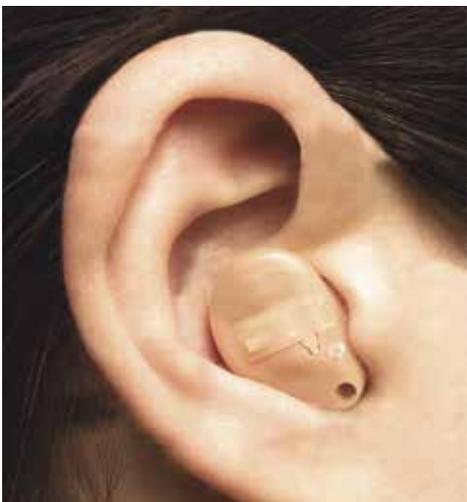
答 国が認知症施策推
進大綱の中で予防
法、治療法などの研究
をしている。この動向
を注視する。

問 全国で35市区町村
が補聴器購入費を
助成している。県下の
実施自治体は。

答 犬山市と設楽町。
稲沢市が検討中。

問 加齢性難聴者の補
聴器購入費補助制
度の創設を。

答 高齢化社会で避け
られない課題。近
隣市町の動向をみて慎
重に検討して行く。



補聴器購入に補助を